

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【平成30年3月】

■調査概要（データ対象期間：平成30年3月1日～3月31日）

- 調査期間：平成30年4月1日～平成30年4月20日
- 調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査
- 回収状況：建設業19企業、製造業21企業、卸売業13企業、小売業26企業
飲食業18企業、サービス業37企業（運輸、不動産仲介業を含む）
<合計134企業>
- 調査項目：3月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価
状況向こう3ヶ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI (Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DI・水準DIともにマイナス幅が縮小

1. 業況判断

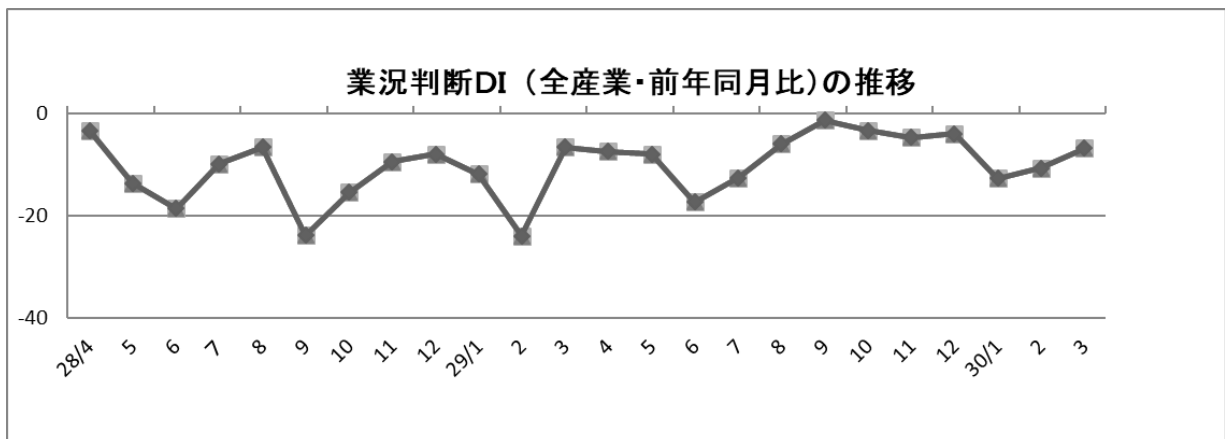
- 全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲10.7）よりマイナス幅が3.9ポイント縮小し、▲6.8となった。業種別では、建設業はプラス幅が拡大し、飲食業、製造業、卸売業、小売業はマイナス幅が縮小した。サービス業は0からマイナスとなった。
- 全産業合計の水準DIは、前月（▲20.0）よりマイナス幅が7.9ポイント縮小し、▲12.1となった。業種別では、サービス業がマイナスから0となり、飲食業、製造業、小売業はマイナス幅が縮小した。卸売業はマイナス幅が拡大した。建設業は0からマイナスとなった。

業況判断DI

| | 業況〔前年同月比〕 | | | | 今月の水準 | | | |
|-------|----------------|----------------|----------------|----------------------|----------------|----------------|----------------|----------------------|
| | 好転% | 不変% | 悪化% | DI | 良い% | 普通% | 悪い% | DI |
| 合計 | 15.2 (16.0) | 62.7 (57.3) | 22.0 (26.7) | ↗ ▲ 6.8 (▲ 10.7) | 15.2 (11.3) | 57.4 (57.4) | 27.3 (31.3) | ↗ ▲ 12.1 (▲ 20.0) |
| 建設業 | 16.7 (9.5) | 72.2 (85.7) | 11.1 (4.8) | ↗ 5.6 (4.7) | 0.0 (4.8) | 77.8 (90.4) | 22.2 (4.8) | ↘ ▲ 22.2 (0.0) |
| 製造業 | 19.0 (19.0) | 47.7 (42.9) | 33.3 (38.1) | ↗ ▲ 14.3 (▲ 19.1) | 28.6 (14.3) | 38.1 (42.8) | 33.3 (42.9) | ↗ ▲ 4.7 (▲ 28.6) |
| 卸売業 | 15.4 (12.5) | 61.5 (62.5) | 23.1 (25.0) | ↗ ▲ 7.7 (▲ 12.5) | 7.7 (6.3) | 61.5 (74.9) | 30.8 (18.8) | ↘ ▲ 23.1 (▲ 12.5) |
| 小売業 | 11.5 (18.2) | 65.4 (48.5) | 23.1 (33.3) | ↗ ▲ 11.6 (▲ 15.1) | 19.2 (18.2) | 34.6 (33.3) | 46.2 (48.5) | ↗ ▲ 27.0 (▲ 30.3) |
| 飲食業 | 16.7 (10.0) | 55.5 (50.0) | 27.8 (40.0) | ↗ ▲ 11.1 (▲ 30.0) | 16.7 (5.0) | 61.1 (50.0) | 22.2 (45.0) | ↗ ▲ 5.5 (▲ 40.0) |
| サービス業 | 13.5 (20.5) | 70.3 (59.0) | 16.2 (20.5) | ↘ ▲ 2.7 (0.0) | 13.5 (12.8) | 73.0 (64.1) | 13.5 (23.1) | ↗ 0.0 (▲ 10.3) |

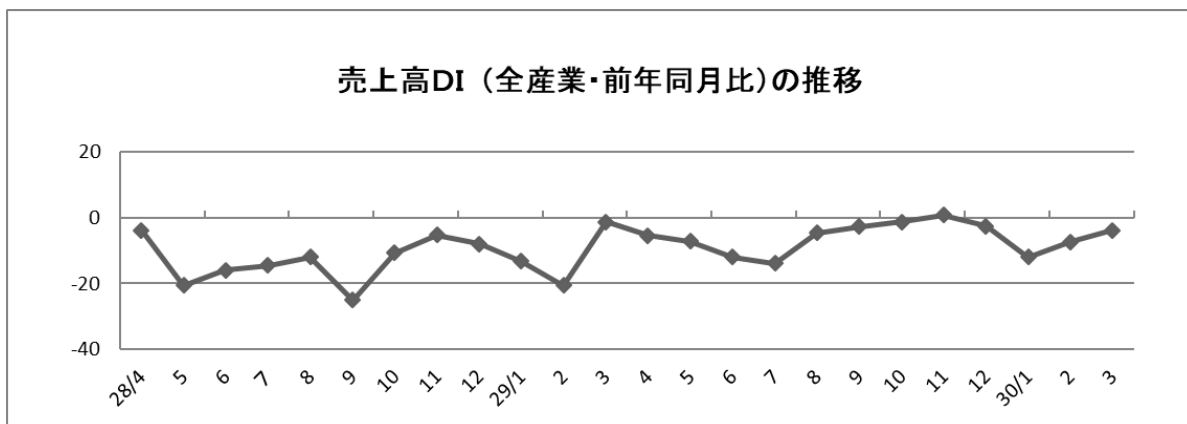
()内は前月データ

※「業況〔前年同月比〕」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計



2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（▲7.4）よりマイナス幅が3.6ポイント縮小し、▲3.8となった。業種別に見ると、建設業はプラス幅が拡大し、製造業は横ばいである。卸売業はプラス幅が縮小した。飲食業、小売業はマイナス幅が縮小した。サービス業は0からマイナスになった。

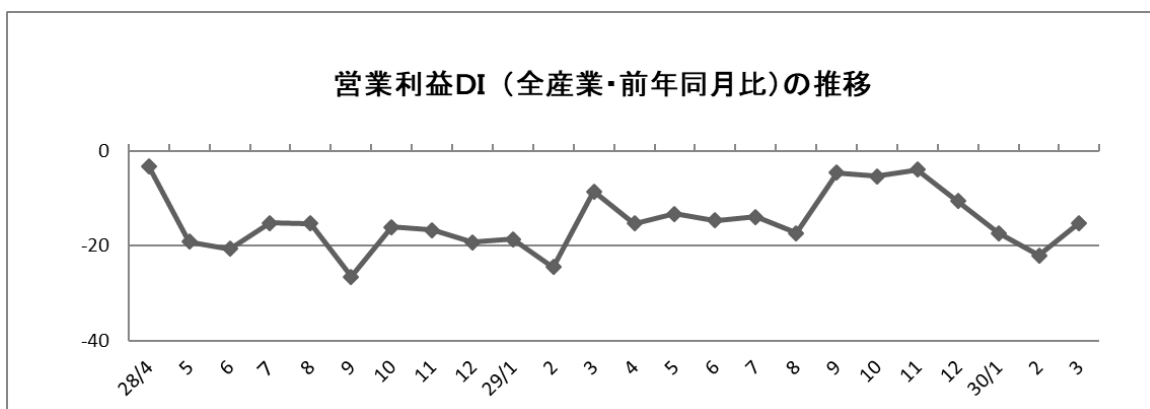


【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

| | 29年3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 30年1月 | 2月 | 3月 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 全 体 | ▲1.3 | ▲5.4 | ▲7.3 | ▲12.0 | ▲13.9 | ▲4.6 | ▲2.7 | ▲1.4 | 0.7 | ▲2.6 | ▲12.0 | ▲7.4 | ▲3.8 |
| 建 設 業 | ▲5.2 | ▲19.1 | ▲28.0 | ▲14.3 | 0.0 | 8.7 | 23.8 | 13.7 | 20.0 | 20.9 | 0.0 | 14.2 | 16.6 |
| 製 造 業 | 5.0 | 16.7 | ▲9.1 | 0.0 | ▲31.8 | 8.7 | 5.2 | ▲4.5 | 0.0 | ▲13.7 | ▲4.3 | ▲14.3 | ▲14.3 |
| 卸 売 業 | ▲16.6 | ▲28.6 | 16.6 | ▲33.4 | 0.0 | 20.0 | 0.0 | 13.4 | 13.4 | 25.0 | 6.7 | 12.5 | 7.7 |
| 小 売 業 | ▲2.8 | 0.0 | 0.0 | ▲17.6 | ▲20.6 | ▲15.2 | ▲16.1 | ▲12.9 | ▲20.7 | ▲16.7 | ▲33.3 | ▲18.2 | ▲11.5 |
| 飲 食 業 | ▲16.7 | ▲14.3 | ▲11.8 | ▲26.6 | ▲44.4 | 0.0 | ▲15.0 | ▲20.0 | 0.0 | ▲23.5 | ▲25.0 | ▲35.0 | ▲11.1 |
| サービス業 | 8.9 | ▲4.6 | ▲5.0 | 0.0 | 2.4 | ▲22.5 | ▲4.2 | 4.9 | 0.0 | ▲2.5 | ▲9.5 | 0.0 | ▲2.7 |

3. 営業利益DI（前年同月比）

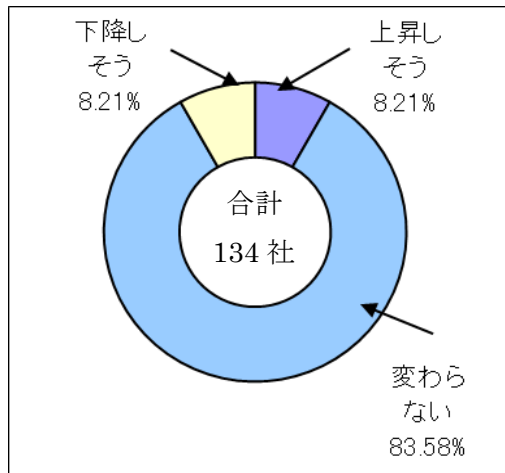
○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲22.0）よりマイナス幅が6.9ポイント縮小し、▲15.1となった。業種別に見ると、製造業はマイナスから0になり、卸売業、飲食業はマイナス幅が縮小した。サービス業、建設業、小売業はマイナス幅が拡大した。



【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

| | 29年3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 30年1月 | 2月 | 3月 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 全 体 | ▲8.6 | ▲15.3 | ▲13.3 | ▲14.7 | ▲13.9 | ▲17.3 | ▲4.6 | ▲5.3 | ▲4.0 | ▲10.6 | ▲17.3 | ▲22.0 | ▲15.1 |
| 建 設 業 | ▲21.0 | ▲33.3 | ▲32.0 | ▲28.6 | ▲4.7 | ▲21.8 | 4.7 | 13.6 | 8.0 | ▲4.2 | ▲13.1 | ▲14.3 | ▲22.2 |
| 製 造 業 | ▲10.0 | ▲4.1 | ▲9.1 | ▲4.7 | ▲36.4 | ▲8.7 | 5.2 | ▲9.1 | 5.0 | ▲4.6 | ▲4.4 | ▲47.6 | 0.0 |
| 卸 売 業 | ▲8.3 | ▲14.3 | 8.3 | ▲20.0 | ▲6.6 | 13.4 | ▲16.7 | 6.7 | ▲13.3 | 0.0 | 0.0 | ▲37.5 | ▲23.1 |
| 小 売 業 | ▲2.8 | ▲11.7 | ▲17.6 | ▲20.6 | ▲17.6 | ▲21.2 | ▲9.7 | ▲9.7 | ▲20.7 | ▲20.0 | ▲33.3 | ▲15.1 | ▲26.9 |
| 飲 食 業 | ▲22.2 | ▲21.4 | ▲11.8 | ▲26.6 | ▲38.9 | ▲25.0 | ▲10.0 | ▲25.0 | 0.0 | ▲23.5 | ▲30.0 | ▲35.0 | ▲22.2 |
| サービス業 | ▲2.2 | ▲14.0 | ▲7.5 | ▲2.3 | 4.9 | ▲25.0 | ▲4.3 | ▲4.9 | ▲2.3 | ▲9.8 | ▲16.7 | ▲5.1 | ▲5.4 |

◇ 向こう3ヶ月の見通し ◇

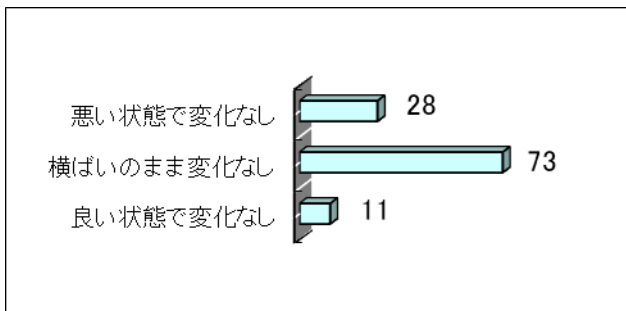


○平成30年3月～平成30年5月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ0.46ポイント減少し8.21%、「下降しそう」が3.54ポイント増加し8.21%となった。業種別の見通しDIは建設業(0.0)、製造業(▲14.3)、卸売業(0.0)、小売業(▲3.9)、飲食業(5.5)、サービス業(8.1)であった。

➡「上昇しそう」では、「新事業がいくつか始まるため」(小売業)「ゴールデンウィーク、修学旅行で集客が増える見込みのため」(飲食業)「現在仕掛け中のプロジェクトを各月ごと回収する予定のため」(春が早く、人の動きが活性化する気配があるので、ゴールデンウィークの動きが早い)ため(サービス業)といった声が寄せられた。

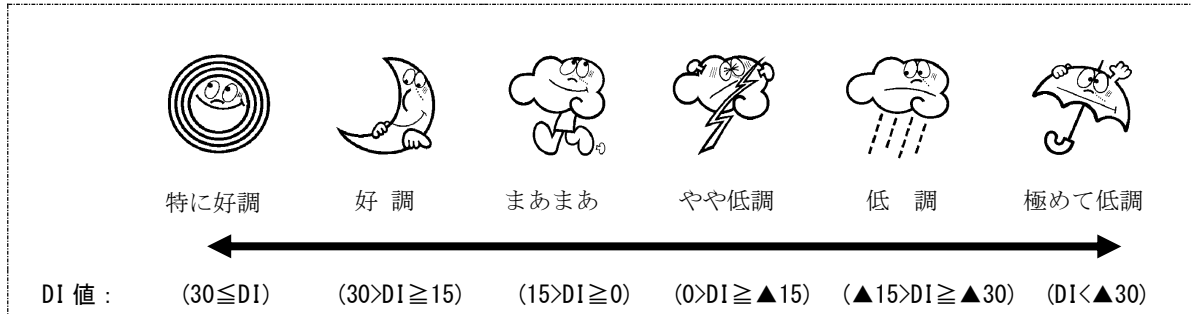
➡「変わらない」では、「各発注者の発注予定が公表されていないので、不透明感があるため」(建設業)「デフレマインドが一向に直らないため」(製造業)「例年より暑くなる見込みのため」(飲食業)「職業訓練受講希望者数減少に底打ち感はあるものの、増加の見込みがあるため」(顧客数の増減がない)ため(サービス業)といった声が寄せられた。

➡「下降しそう」では「受注の減少のため」「円高のため」「昨年より原材料の野菜が品不足で価格が高騰したため製品不足に見合った値上げができず、利益の確保が厳しく赤字経営となっているため」(製造業)「今回は年度末なので特別に良かったため」「県内の2月新築着工数の激減のため」(卸売業)「お人形の売れる時期が終わるため」「毎年のことではあるが、3月で現場が一区切りしているため」(小売業)「送迎会シーズンが終わり、落ち着くと予想するため」(飲食業)「人材不足のため」(サービス業)といった声が寄せられた。



業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



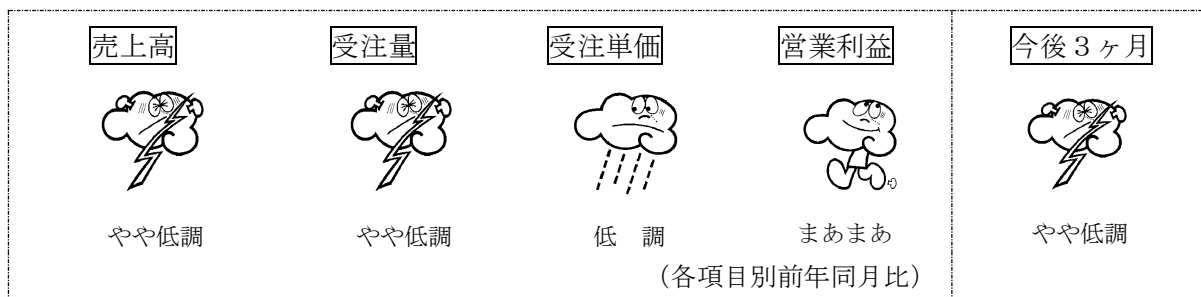
【項目別DIの推移】

| | 29年3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 30年1月 | 2月 | 3月 |
|---------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|------|-------|------|--------|--------|--------|--------|
| 売 上 高 | ▲ 5.2 | ▲ 19.1 | ▲ 28.0 | ▲ 14.3 | 0.0 | 8.7 | 23.8 | 13.7 | 20.0 | 20.9 | 0.0 | 14.2 | 16.6 |
| 受 注 量 | ▲ 5.2 | ▲ 38.1 | ▲ 40.0 | ▲ 33.4 | 0.0 | ▲ 8.7 | 9.6 | 18.2 | 4.0 | 12.5 | ▲ 8.7 | 19.1 | ▲ 9.5 |
| 受 注 単 価 | ▲ 5.3 | ▲ 4.8 | ▲ 12.0 | ▲ 4.8 | 4.8 | 0.0 | 4.7 | ▲ 4.6 | 0.0 | ▲ 12.5 | ▲ 8.7 | ▲ 9.5 | ▲ 5.5 |
| 営 業 利 益 | ▲ 21.0 | ▲ 33.3 | ▲ 32.0 | ▲ 28.6 | ▲ 4.7 | ▲ 21.8 | 4.7 | 13.6 | 8.0 | ▲ 4.2 | ▲ 13.1 | ▲ 14.3 | ▲ 22.2 |
| 見 通 し | 10.5 | 0.0 | 16.0 | 9.5 | 14.2 | 4.4 | 0.0 | ▲ 4.5 | 4.0 | 0.0 | 8.7 | 14.3 | 0.0 |

<経営者の目・見方・etc>

- 電気工事
 - ・毎年年度末は仕事が忙しいはずだが、今年度は暇だったような気がする。建設業に限らず全般的に景気下降気味のようだ。
- 管工事
 - ・受注量は増えたが原材料費の値上がりがあり、差し引きすればマイナスとなる。受注単価が上がらない限りよくなる。
- 土木工事
 - ・昨年秋の台風災害の復旧がほとんど進んでいない。景気回復のために公共事業の予算増が必要。
- 建築工事
 - ・3月までは大口の工事などがあったが、以降に予定する工事が激減した。年度末を考慮して新年度の公共工事を期待したい。
- 鉄工
 - ・需要は首都圏に一極集中している傾向にある。東京五輪の関連施設等のからみで仕事量も高水準となってきている。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

| | 29年3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 30年1月 | 2月 | 3月 |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|
| 売上高 | 5.0 | 16.7 | ▲ 9.1 | 0.0 | ▲ 31.8 | 8.7 | 5.2 | ▲ 4.5 | 0.0 | ▲ 13.7 | ▲ 4.3 | ▲ 14.3 | ▲ 14.3 |
| 受注量 | ▲ 15.0 | 4.2 | ▲ 18.2 | 0.0 | ▲ 27.3 | 4.3 | 15.8 | ▲ 9.1 | 0.0 | ▲ 13.6 | ▲ 8.7 | ▲ 14.3 | ▲ 9.5 |
| 受注単価 | ▲ 5.0 | ▲ 16.6 | ▲ 9.1 | ▲ 33.3 | ▲ 27.3 | ▲ 4.4 | ▲ 10.5 | ▲ 18.2 | ▲ 15.0 | ▲ 13.6 | ▲ 8.7 | ▲ 23.8 | ▲ 23.8 |
| 営業利益 | ▲ 10.0 | ▲ 4.1 | ▲ 9.1 | ▲ 4.7 | ▲ 36.4 | ▲ 8.7 | 5.2 | ▲ 9.1 | 5.0 | ▲ 4.6 | ▲ 4.4 | ▲ 47.6 | 0.0 |
| 見通し | ▲ 20.0 | ▲ 4.2 | ▲ 4.5 | ▲ 4.7 | ▲ 4.5 | 0.0 | ▲ 5.3 | 0.0 | ▲ 5.0 | ▲ 9.1 | 8.7 | 9.5 | ▲ 14.3 |

<経営者の目・見方・e t c>

印刷

- ・年度末に係る印刷物の駆け込み受注があったものの、3月後半は徐々に落ち着いてしまった。先月の報告で市の入札参加業者がネット印刷へ出しているという批判が出ていたが、安易な分析である。

予算準拠主義に基づいて予算付けの時にきちんと見積りする力のない一部の業者・営業が極端なデフレマインドで容易に見積価格を下げしまい、予算確保できずに契約時に価格を下げざるを得なくなって、外部に頼らざるを得なくなっているに過ぎない。予算準拠主義を理解できない悪質な営業が依然横行している。

- ・印刷業界としてはとりあえず横ばい状態。先行きは不透明である。

機械

- ・松本市工業ビジョン見直し策定により、ものづくり支援機関等の活動に製造業として期待している。

紙器

- ・良い方向に向かっている。このまま順調にいったほしい。

製造

- ・年度末も含めて先の見直しが上期は難しいかもしれない。

精密機器

- ・部品不足による生産調整の話があちこちで聞かれるところがやや気がかりである。

金属塗装

- ・塗装の受注、売上が1～3月は高い状態で推移している。利益も出るようになってきた。一方で銘盤事業の方は競争が激しく、低い受注単価の商品が増え、利益が出にくくなっている。

3. 卸売業



【項目別DIの推移】

| | 29年3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 30年1月 | 2月 | 3月 |
|-------|--------|--------|------|--------|--------|------|--------|-------|--------|-------|--------|--------|--------|
| 売上高 | ▲ 16.6 | ▲ 28.6 | 16.6 | ▲ 33.4 | 0.0 | 20.0 | 0.0 | 13.4 | 13.4 | 25.0 | 6.7 | 12.5 | 7.7 |
| 販売客数 | ▲ 16.7 | ▲ 7.2 | 0.0 | ▲ 20.0 | 6.6 | 6.7 | 0.0 | ▲ 6.7 | 6.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | ▲ 15.4 |
| 販売客単価 | ▲ 8.3 | ▲ 14.3 | 0.0 | ▲ 26.6 | 0.0 | 6.7 | ▲ 8.4 | 6.6 | 13.3 | 18.8 | 6.7 | 18.7 | 23.1 |
| 営業利益 | ▲ 8.3 | ▲ 14.3 | 8.3 | ▲ 20.0 | ▲ 6.6 | 13.4 | ▲ 16.7 | 6.7 | ▲ 13.3 | 0.0 | 0.0 | ▲ 37.5 | ▲ 23.1 |
| 見通し | 8.3 | 7.1 | 8.3 | ▲ 6.7 | ▲ 13.3 | 6.7 | ▲ 8.3 | ▲ 6.7 | ▲ 6.7 | ▲ 6.2 | ▲ 13.3 | ▲ 6.3 | 0.0 |

<経営者の目・見方・e t c>

自転車

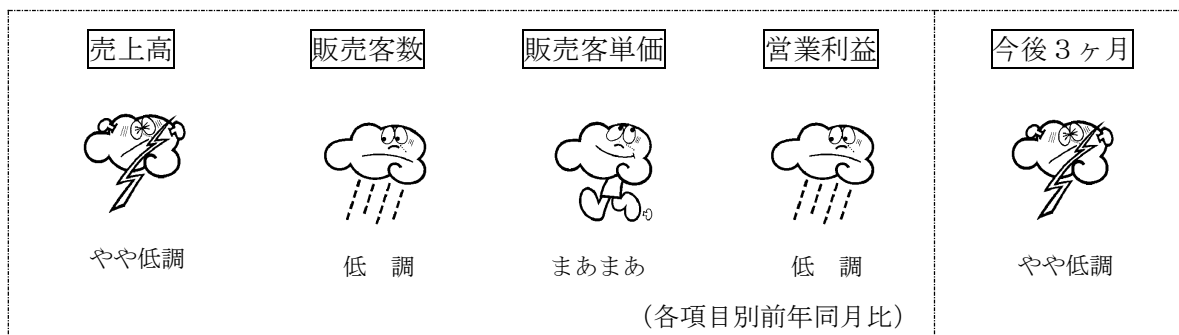
金属製品

医薬品

機械工具

- ・通学用自転車がよく売れた。電動自転車が順調に売れている。
- ・年度末だが、例年のような駆け込みはなく動きは鈍い。鉄相場は不安定かつ弱含み感が強まっており、スクラップの値下がりなど影響が出てきている。
- ・良い方向に向かっている。このまま順調にいてほしい。
- ・薬価改定による買い控えの影響が出た。
- ・年度末で駆け込みの受注があった。
- ・不透明な状態のため、横ばいで行きそう。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

| | 29年3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 30年1月 | 2月 | 3月 |
|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 売上高 | ▲ 2.8 | 0.0 | 0.0 | ▲ 17.6 | ▲ 20.6 | ▲ 15.2 | ▲ 16.1 | ▲ 12.9 | ▲ 20.7 | ▲ 16.7 | ▲ 33.3 | ▲ 18.2 | ▲ 11.5 |
| 販売客数 | ▲ 8.3 | ▲ 3.0 | ▲ 8.8 | ▲ 14.7 | ▲ 17.6 | ▲ 9.1 | ▲ 16.1 | ▲ 22.5 | 3.5 | ▲ 30.0 | ▲ 25.9 | ▲ 18.1 | ▲ 27.0 |
| 販売客単価 | 0.0 | ▲ 11.7 | ▲ 5.9 | ▲ 20.6 | ▲ 23.5 | ▲ 24.3 | ▲ 19.3 | 0.0 | ▲ 10.4 | 0.0 | ▲ 3.7 | 3.0 | 11.6 |
| 営業利益 | ▲ 2.8 | ▲ 11.7 | ▲ 17.6 | ▲ 20.6 | ▲ 17.6 | ▲ 21.2 | ▲ 9.7 | ▲ 9.7 | ▲ 20.7 | ▲ 20.0 | ▲ 33.3 | ▲ 15.1 | ▲ 26.9 |
| 見通し | ▲ 8.3 | 2.9 | 0.0 | ▲ 8.8 | ▲ 5.9 | ▲ 9.1 | ▲ 3.2 | 3.3 | 3.4 | ▲ 13.3 | 7.4 | 0.0 | ▲ 3.9 |

<経営者の目・見方・etc>

印章

- ・はんこ業界で良い話は聞こえてこない。
- ・飲食店に期間をかけて巡る企画がいくつも開催されている。物販店も参加できるようなお店巡り企画ができれば面白いと思う。お店を訪れた記念に御朱印を差し上げれば記念になるのではないかなと思う。

ショッピングセンター

- ・例年に比べ気温が高く、春物の動きが好調であった。また「草間彌生 特別展」などのイベント効果もあり町場の動員は好調に思えた。ゴールデンウィークも「信毎メディアガーデン」オープンにより来街客の回遊を期待したい。

パン

- ・季節が早く移っているため、その対応に神経を使っている。毎年ではないが年度末は、県、国といった施設での入札があり、その結果が会社の方向を大きく左右する。今回は信州大学附属病院販売店が入札対象であったが、今まで運営していた地元の法人が入札できず、大阪の会社が落札した。結果として地元の仕事が減り、原材料問屋さんへの注文も減るといった現実にもぶつかっている。地元あつての大学ではないかと思ひ、腹立たしい。
- ・自店で販売できるかどうか、この業界の中小企業が生き残れるポイントになりつつある。卸売とのバランスが大事だと気付かされる月であった。

陶磁器

- ・「草間彌生 特別展」が始まって、街角にもお客様の手元にも水玉模様が目立つようになった。開始早々からまるで閉幕間際のような集客を見せている。今期はまだ100日以上あるので何とかあやかりたい。

生鮮食品

- ・売上は去年とあまり変わらずであったが、仕入値が上昇し頭が痛い。
- ・年度末となり卸売が多かった。

菓子

- ・イオンモールの進出で限られたパイの中で商業エリアが2カ所となり、松本市街地に影響が出てきている。これからの観光客に期待したい。
- ・業界では入学祝等の受注が減っている。商業の集積しているイオン界隈は商業地域にすべきである。

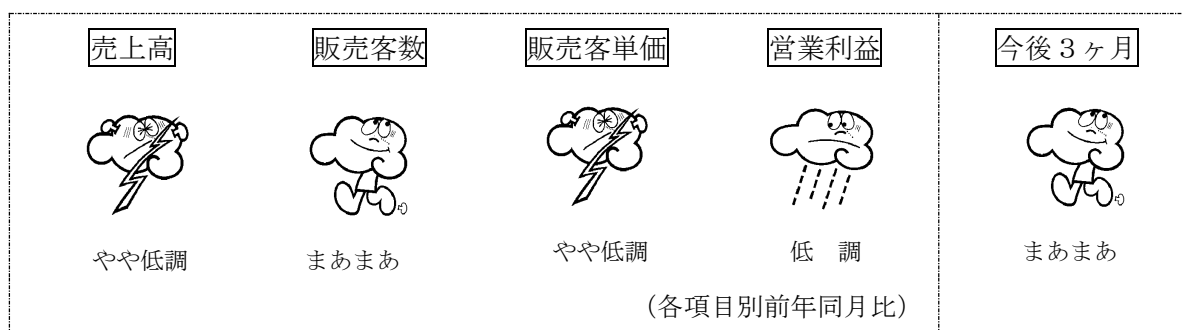
薬局

- ・桜のせいかな人も多く期待したい。外国人がすごく多い。

住宅機器

- ・大変忙しかった。しかし3月にほとんどの現場が終わってしまい、4月から暇になっている。

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

| | 29年3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 30年1月 | 2月 | 3月 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----|--------|--------|--------|--------|
| 売上高 | ▲ 16.7 | ▲ 14.3 | ▲ 11.8 | ▲ 26.6 | ▲ 44.4 | 0.0 | ▲ 15.0 | ▲ 20.0 | 0.0 | ▲ 23.5 | ▲ 25.0 | ▲ 35.0 | ▲ 11.1 |
| 販売客数 | ▲ 11.1 | ▲ 14.3 | ▲ 5.9 | ▲ 33.3 | ▲ 38.9 | ▲ 12.5 | ▲ 10.0 | ▲ 20.0 | 5.9 | ▲ 23.5 | ▲ 30.0 | ▲ 30.0 | 0.0 |
| 販売客単価 | 5.6 | ▲ 14.3 | ▲ 11.7 | ▲ 26.7 | ▲ 33.3 | 6.3 | ▲ 15.0 | ▲ 25.0 | 0.0 | ▲ 23.5 | ▲ 25.0 | ▲ 10.0 | ▲ 5.5 |
| 営業利益 | ▲ 22.2 | ▲ 21.4 | ▲ 11.8 | ▲ 26.6 | ▲ 38.9 | ▲ 25.0 | ▲ 10.0 | ▲ 25.0 | 0.0 | ▲ 23.5 | ▲ 30.0 | ▲ 35.0 | ▲ 22.2 |
| 見通し | 16.7 | 14.3 | 0.0 | 6.7 | ▲ 5.6 | ▲ 6.2 | 0.0 | ▲ 5.0 | 5.9 | ▲ 17.6 | 25.0 | 5.0 | 5.5 |

<経営者の目・見方・e t c>

寿司

- ・唯一の祝日に大雪が降るなど予期せぬマイナス要因もあったが、最終週は暖かい気候も手伝ってか、歓送迎会を中心とした来店が多くあった。今後も特定の需要が見込まれる時期には機会損失がないよう事前の準備を入念に行いたい。
- ・だいぶ暖かくなり、人の動きも良くなってきた。特に中旬から下旬にかけては景気回復とまではいかないにしろ全体的にはとても良い月であった。これから4月になってかなり期待が持てると思う。

そば

- ・今までで経験したことのないほど暇な月ではあったが、この現状を前向きに捉え、真摯な気持ちで春を迎えたい。

郷土料理

- ・春の気配と共に観光客が急に増加してきた。外国人客が珍しくなくなりありがたい。これからの期待したい。

仕出し料理

- ・3月に入って食中毒が県内で数件発生したため、衛生面には十分注意して営業した。

料理

- ・送別会等客は動き出したが客単価は低く材料費の値上げが響く月だった。
- ・仕入業者によると東京も冷えているそうである。好景気の波はどこに向かっているのか。春の花見客に期待したい。






食堂

- ・イオンモールが開業して半年が過ぎた。開業前と比べると中町から日の出町の交通量は増えているが、来客数は思ったようには増えない。土日は多いが平日は減少気味である。

洋風居酒屋

- ・やはり歓送迎会シーズンもあり暖かくなったため、人の動きが活発になったことが売り上げに表れた。

6. サービス業

| | | | | |
|---|---|---|--|---|
| 売上高 | 販売客数 | 販売客単価 | 営業利益 | 今後3ヶ月 |
|  |  |  |  |  |
| やや低調 | やや低調 | まあまあ | やや低調 | まあまあ |
| (各項目別前年同月比) | | | | |

【項目別DIの推移】

| | 29年3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 30年1月 | 2月 | 3月 |
|-------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|
| 売上高 | 8.9 | ▲ 4.6 | ▲ 5.0 | 0.0 | 2.4 | ▲ 22.0 | ▲ 4.2 | 4.9 | 0.0 | ▲ 2.5 | ▲ 9.5 | 0.0 | ▲ 2.7 |
| 販売客数 | 4.4 | 0.0 | ▲ 7.5 | ▲ 2.3 | ▲ 2.5 | ▲ 24.4 | 0.0 | 0.0 | ▲ 2.3 | ▲ 9.8 | ▲ 23.9 | ▲ 12.8 | ▲ 5.4 |
| 販売客単価 | 0.0 | 2.3 | 0.0 | 9.1 | 0.0 | 7.4 | ▲ 4.2 | 9.8 | ▲ 4.6 | ▲ 2.4 | ▲ 4.8 | 0.0 | 8.1 |
| 営業利益 | ▲ 2.2 | ▲ 14.0 | ▲ 7.5 | ▲ 2.3 | 4.9 | ▲ 24.4 | ▲ 4.3 | ▲ 4.9 | ▲ 2.3 | ▲ 9.8 | ▲ 16.7 | ▲ 5.1 | ▲ 5.4 |
| 見通し | 6.6 | 7.0 | ▲ 5.0 | 4.5 | 0.0 | ▲ 4.9 | 8.5 | ▲ 4.9 | 0.0 | 0.0 | ▲ 4.7 | 2.6 | 8.1 |

<経営者の目・見方・etc>

| | |
|----------|---|
| 不動産賃貸 | ・変動なし |
| リラクゼーション | ・暖かくなるとともに人の動きがでた。 |
| タクシー | ・オート燃料価格はLPガス・ガソリン共に2月に続いて3月も値上がりとなった。客数・売上高はほぼ前年並みであった。 |
| 機械設計 | ・来期に向けてのテーマが出てきている。年度末で忙しさも落ち着いている。一部の商品で入手が難しいものがある。 |
| ソフトウェア | ・昨今、ユーザ企業でも業績の好転に合わせて、業務継承を目的として自社社員を雇用する動きがあり、アウトソースで業務支援を提供することが難しくなっている。企業としては結構なことであるが、IT技術者の支援に関しては転機が訪れていると感じている。 |
| ペットサービス | ・来店数、売り上げともに前年を上回った。期間限定クーポン等による販促の効果があつた。 |
| 理容 | ・業界的に3月は卒業式など繁忙期のため、活性は高かった。 |
| ホテル | ・去年に比べ宿泊者数は低調、宴会は好調であった。祝日の日並びの悪さも多少はあると思う。客室数の多いホテルが来年5月くらいから開業することになり心配である。 |